



議会だより

ぶんごおおの

第6号

平成18年11月1日 発行



第19回豊後大野市おおのまち42.195キロ歩こう大会

目次 CONTENTS

● 9月定例会

効率的な財政運営を!2~3

● 議員発議

飲酒運転撲滅
県道三重新殿線バイパス4~5

● 視察研修 REPORT

— 議会運営委員会 —5

● 市政を問う!

一般質問6~11

● **訪ねて** ふるさとを12

● **キラリ** ☆ **ひと言**13

財政運営を！

9月
議会定例会

平成18年第3回定例会は、9月7日から25日まで開かれました。
一般会計補正予算、工事請負契約の締結など22議案が提出され、いずれも可決。
そのほか諮問（人権擁護委員の推薦）2件に同意、請願2件、陳情1件を採択しました。
議員発議で飲酒運転撲滅に関する緊急決議など6件を可決。
さらに、平成17年度公立おがた総合病院特別会計など2件の決算を認定しました。

一般会計補正予算

11億2547万円を追加

な
出
主
歳

将来のために

■地域振興基金積立金
10億円

公民館改築、
市道改良に

■電源立地地域対策事業費
2962万2千円

白杵―三重間維持

■バス路線維持対策費補助金
225万7千円

在宅障がい者を

支援

■障害者生活支援事業委託料
315万6千円

観光施設の

イメージアップ

■施設内の遊具などの修繕
（三ノ岳天体望遠鏡など）
150万円

■施設の工事請負費

（原尻の滝つり橋
落下防止柵設置
など）
340万円

市道を

しっかりと管理

■道路台帳統合システム
移行業務委託
2372万円

「まちの駅」を

アピール

■加盟33店舗へ貸与する
のぼりなどの購入
70万円



▲出合いと交流の拠点「まちの駅」
目印は、こののぼりです

効率的な

請願と陳情

採択

「多重債務を未然に防止し、消費者保護の徹底を求める意見書」の提出を求める請願書

- 趣旨
出資法の上限金利の引き下げや「みなし弁済」規定を廃止することなどを求める。
- 請願者
大分多重債務問題対策協議会
代表弁護士 渡辺 耕太
- 紹介議員
橋本 祐輔 安藤 豊作
清田 満作

採択

地方財務の充実・強化を求めることに関する請願

- 趣旨
地方交付税制度の財源保障と財政調整の機能を堅持し、一般財源の総額の確保と国から地方への過剰な関与を見直し、税源移譲と国庫補助負担金改革、税財政制度の改革を進めることの見解提出を求める。
- 請願者
豊後大野市職員労働組合
執行委員長 和田 貴彦
- 紹介議員
赤嶺 謙二 佐藤 生稔

採択

「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」採択に関する陳情

- 趣旨
地域住民の合意と納得を得ない集配局の廃止・再編は、行わないこと。離島や僻地、中山間地の郵便局を維持し、現在の集配局機能を存続することを求める。
- 陳情者
全国労働組合総連合
議長 坂内 三夫

条例
一部改正



大野町地域産物加工販売施設(大地)が道の駅の認定を受けたことに伴い、「道の駅おおの」を条例に追加しました。

物産館「大地」を追加

豊後大野市「道の駅」条例

出産育児一時金を35万円に

豊後大野市国民健康保険条例



平成18年10月1日
から一定以上の所得を有する70歳以上の人について、療養の給付に係る一部負担金の割合を現行の2割から3割にします。
また、出産に係る出産育児一時金の額を現行の30万円から35万円に増額するため改正するもの。

飲酒運転撲滅に関する緊急決議

交通事故の無い明るい社会の実現は、豊後大野市民の切実な願いであり、長年の課題でもある。

しかしながら、関係機関・団体の懸命の努力にもかかわらず、多くの方が交通事故の犠牲者となり、悲しみや苦しみを抱えながらの生活を余儀なくされている。

こうした状況下において、先日、幼い三人の尊い命を奪い、幸せな家庭を一瞬にして崩壊させた飲酒運転に起因した交通事故は、国民に大きな衝撃と深い悲しみをもたらし、飲酒運転の怖さをあらためて痛感させた。

このような状況下においても、全国各地で、飲酒・酒気帯び運転の事故報道は後を絶たず、県下においてもまた然りである。

県下の飲酒運転による交通事故は、平成14年の厳罰化に伴い減少傾向で推移していたが、昨年から再び増加に転じており、マスコミなどで報道される飲酒、酒気帯び運転の実態は、憂慮に堪えない情勢にある。

そのため、こうした悲劇を二度と繰り返さないよう、市民とともに飲酒運転を追放する決意を新たにすることが必要である。

飲酒運転撲滅のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場、さらには地域が一体となって「飲酒運転は絶対にしない、させない」という社会環境を醸成していくことが重要である。

よって、本議会は、市を始め関係機関・団体との連携を強化し、市民と一体となって飲酒運転の撲滅に向けて全力を挙げて取り組むことを決意する。

上記 決議する。

平成18年9月25日

豊後大野市議会

提出者 伊藤 憲 義
賛成者 宮成 昭 義
小野 栄 利

飲酒運転撲滅

緊急決議

絶対ダメ!



飲酒運転撲滅のためには、運転者の交通安全意識の向上はもとより、家庭や職場、さらに、地域が一体となって「飲酒運転は絶対にしない、させない」という社会環境を醸成していくことが重要です。

市を始め関係機関・団体との連携を強化し、市民と一体となって飲酒運転の撲滅に向けて全力を挙げて取り組めます。

道路特定財源制度 の堅持に関する意見書

提出者 佐藤
賛成者 高山

渡邊 宇高 一克 文 哲 豊徳 文 哲 吉宣

本市は、豊かな農林資源や自然などの観光資源に恵まれているが、地域の発展に必要な社会資本の整備が大きく立ち遅れています。

なかでも、道路交通網の整備は、人・物の交流の広域化や生活圏の拡大などを図り、地域の活性化を促進するため、重要な緊急な課題です。

地方の地域振興・発展に影響が生じることのないよう道路整備に必要な財源の確保を政府に強く要望するものです。



県道三重新殿線バイパスの早期完成を求める決議

県道三重新殿線バイパスは、現在整備中の中九州横断道路（地域高規格道路）と国道326号を連結する道路であり、県南内陸部における南北交通の幹線道路で地域の発展を期待する路線として計画されたものである。

本路線の整備は、東九州自動車道（高規格幹線道路）及び中九州横断道路と連結して、高い交通機能を有した「循環型道路ネットワーク」の形成を目指すものと認識されている。

市内の国道は、近年、生活圏の拡大や人・物の交流の広域化等により、著しく交通量が増加し、市街地やその周辺部において、交通渋滞や交通事故等が多発しており、市民生活に密着したアクセス道路の完成は、市民の安全・安心を確保するためにも、極めて重要である。

現在、平成19年度の三重町赤嶺工区供用開始に向け、整備中であるが、大部分が未着手となっている。

よって、早期完成のために、未着工区間を三重町内山の国道326号から三重町赤嶺のバイパス区間及び三重町大原から千歳町前田のバイパス区間に分割し、工区毎の予算措置並びに国の直轄事業としての位置付けをしていただくことを強く要望する。

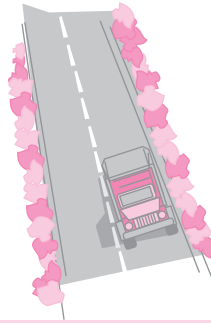
なお、本市議会は、市の産業経済の発展・地域間交流の促進・生活環境の保全と改善を図るため、市当局をはじめ、関係する団体や市民と広く連携を図り、一丸となって、県道三重新殿線バイパスの早期着工・完成を強く求める活動を展開する。

以上、決議する。

平成18年9月25日

豊後大野市議会

県道三重新殿線バイパスの早期完成を求める決議



提出者 首藤 正 光
賛成者 宇薄 克 哲
清 田 滿 作

本路線は、現在整備中の中九州横断道路（地域高規格道路）と国道326号を連結する道路であり、県南内陸部における南北交通の幹線道路で、地域の発展を期待する路線として計画されたものです。

市の産業・経済の発展、地域間交流の促進、生活環境の保全と改善を図るため、市当局を始め、関係する団体や市民と広く連携を図り、一丸となって、県道三重新殿線バイパスの早期着工・完成を強く求める活動を展開します。

視察研修 REPORT

議会の活性化を学ぶ 議会運営委員会

今回、2つの自治体の視察研修をしました。

まず、愛媛県東温市は、2町での合併で人口は3万5千人、市庁舎は近代的な6階建てで、1階ロビーでは総合案内係が笑顔で応対をしています。

委員会の任期は1年で、議員の任期中4つの委員会に所属することもできます。政務調査費が導入されており、議員の調査活動費として使われています。この研修を生かし、議会運営のさらなる充実に取り組みます。

議会活性化は、市民へ議会情報の提供（本議会生中継、市のホームページに会議録掲載、議会だよりの発行など）に努めています。

政務調査費を導入し、地域の実情把握や調査活動を十分行えるようにしています。

次に、広島県三原市です。1市3町での合併で人口は、10万6千人です。

議会運営は、常任委員会の同日開催を避け、すべての委員会への傍聴を可能にしています。



▲東温市議会との意見交換会

9月
定例会
市政を問う

一般質問



さとう いきみ
佐藤生稔



市民の病院として充実を

質問

公営企業法全部適用病院への移行は、来年4月1日が妥当と考えるがどうか。

また、病院事務長の人材確保と硬直化した人事配置に問題は無いのか伺う。

答弁 市長

全適移行は、年度の区切りが好ましいと承知しており、現在努力しているところです。

答弁 総務部長

事務長の果たす役割と病院事務の特殊性を検討し、市職員として幅広い分野で能力発揮ができるような人事管理に努めます。

国道326号の
バイパスを

質問

三重中心市街地の交通渋滞と中央農免道路の交通量増加の解決策は。

答弁 建設部長

内山・前内田区間の早期計画化に向け「三重新殿線バイパス建設促進期成会」と一体で取り組みます。



▲建設中の三重新殿線バイパス（国道326号と交差）

「お母さん」の
声を聞いて

質問

子育て支援にはポリシーとスピードが必要。

市民と協働で取り組んではどうか。

答弁 保健福祉部長

現在の三重ふれあい児童館は狭く、サークル活動も満足にできない状況です。

子育て支援の拠点的機能を備えた児童館の設置など、安心して子育てができる環境づくりをします。

はしもと ゆうすけ
橋本祐輔



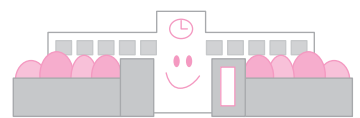
米飯給食の存続は

質問

来年4月から緒方、清川、大野、朝地の給食調理場をひとつにまとめた西部学校給食調理場が稼働する。

緒方町給食の歴史

- 昭和32年 「温食」と名付けて給食が始まる。
- 昭和43年 町内全校の学校給食が開始される。
- 昭和51年 学校給食制度に米飯給食が正式に位置付けられる。 週1回
- 昭和52年 週2回
- 昭和53年 週3回
- 昭和54年 県下初の週5回、完全米飯給食が始まる。



食教育と
地産地消の推進を

質問

総合的食教育の推進と具体的な取り組みは。

答弁 教育長

食育は、栄養職員が柱となつて、児童生徒が食に関する知識と望ましい食習慣を身に付けるよう、家庭と連携して推進している。

新調理場の栄養職員は、県に1名の加配をお願いし、2名の栄養職員の配置を考えている。

学校給食での地場産品の活用は食育の重要な取り組みで、公社などを主要な納入者として体制づくりをしていきたい。

答弁 教育長

パン食の状況は、犬飼町と千歳町が週2回、三重町が週1.5回、清川町、朝地町、大野町が週1回、緒方町は、月1回となっています。

基本的には給食内容に大きな差が生じるべきでないと考えています。

米飯給食を含め献立については、今後、学校関係者および市学校給食運営委員会などで十分協議していきたい。

えとうちよこ
恵藤千代子



**就学前の子どもに
支援を**

質問
新制度「認定こども園」の導入は。

答弁 市長
就学前教育、保育の方針を立てるうえで、重要な制度と捉えています。早期に方針を決定し、子どもが等しく教育・保育が受けられる環境整備を図っていききたい。

質問
建替計画のある三重幼稚園、東保育所、牧口保育所の構想は。

答弁 保健福祉部長
教育・保育の方針、認定こども園の方針、さらに行政改革大綱との整合性を図っていく必要があります。

私立保育園との調整もあり、全市的な構想の中で中長期的に取り組んでいきます。

質問
休日保育、病後児保育を来年度実施できないか。

答弁 保健福祉部長
休日保育は、民間保育園の実施を検討したい。

質問
病後児保育は、看護師を雇用している民間保育園または、民間医療機関での実施を検討したい。

質問
認可私立保育園の施設整備は。

答弁 保健福祉部長
今後要望があれば、早急に次世代育成支援対策地域行動計画に盛り込んでいきたい。



◀みんなガンバレ！（犬飼保育園）

ことうあきこ
後藤 章子



障がい者自立支援問題

質問
利用者の負担増に市の軽減対策を。

答弁 市長
通所授産施設と児童デイサービスの利用者負担は軽減する。

その他の負担は、利用状況や近隣市を見ながら今後検討していききたい。

質問
「障がい者福祉計画」作成の進捗状況は。

答弁 保健福祉部長
12月中に策定の予定。障がい者家族会なども含めた策定委員会を構成しており、住民の意見を反映させたい。

改定介護保険問題

質問
制度の改正により施設からの退所などはないか。

答弁 保健福祉部長
情報提供のあった施設では、退所者の60%は病気のため医療機関へ入院、15%は在宅となっています。退所理由の調査は、実施していません。

中山間過払い問題

質問
解決への進捗状況は。

答弁 産業経済部長
清川町の4地区101万4552円については、すべての地区より全額納入していたできました。緒方町については、連絡会と協議を重ね、早期解決に向けた取り組みを行なっていききたい。



▶行動範囲が広がります（福祉用電動車両）

こうじな そうさく
神志那宗作



教育計画の作成を

質問

古い施設の改修、耐震調査、パソコンや給食食器の整備などを盛り込んでどうか。

答弁 教育長

総合教育計画は、本年度策定予定で作業を進めています。



▲古くなり、交換予定のパソコン（三重中学校）

答弁 教育次長

施設整備は、計画の中に方向性を定め、耐震調査は、18、19年度で実施したい。給食食器の整備は、計画に盛り込んでいきたい。パソコンは、今年度中に整備予定です。

住民健診は

質問

本市では、がんの死亡率がダントツに高い。子宮がん、乳がん検診は、毎年実施してはどうか。

答弁 保健福祉部長

厚労省指針により、隔年実施しています。希望者には全額個人負担で毎年受診窓口を開けているが、半額助成を今後検討したい。

障がい者自立支援を

質問

県の負担軽減策に対応する施策を実施し、利用料の軽減を図ってはどうか。

答弁 保健福祉部長

「障がい者就労継続サポート事業」「児童デイサービス利用促進事業」を実施することとし、今議会に予算計上しています。利用料の軽減は、利用状況、隣接市の動向をみて検討したい。

みやなり あきよし
宮成昭義



共に支えよう…

認知症

質問

要介護、要支援認定の高齢者のほぼ半数が認知症と言われるが、対策は。

答弁 保健福祉部長

地域包括支援センターと保健師で個別訪問で対応します。

また、認知症について正しく知識の普及を図るため健康教室や講演会などを開催します。

今後の米作経営は

質問

品目横断的経営安定対策の対象外農家への支援策は。

答弁 産業経済部長

農家個々の状況を分析し、指導していく。



▲めっきり少なくなった“掛け干し風景”（緒方町）

米作農家についても19年度から始まる「水田に関する産地づくり対策」を利用して支援していきます。

どう進める…

これから

質問

国体までの、三重新殿線および大原グラウンド周辺の整備は。

答弁 市長

バイパス工事は、早期完成に向け働きかけを強化していきます。

しかし、国体までには完成しません。

グラウンド周辺整備については、順次、改修整備をします。

※その他

国際交流事業



さとう たつみ
佐藤辰己



安全、安心対策は

質問
急傾斜地の防災対策と現状はどうか。

答弁 総務部長

県をはじめ関係機関の協力で防災パトロールを実施し、危険箇所総数460カ所のうち、急傾斜地は183カ所です。

地域における自主防災組織の育成に努め、防災知識の普及・啓発、訓練を実施していきたい。

崩壊危険箇所は、防災パトロールの結果をもとに住民の不安解消と安全確保に努めます。

お問い合わせ

質問

花いっぱい運動の住民参加と対策は。

答弁 市長

市民運動連絡協議会を設置し、市民運動を展開していきたい。
遊休地などを利用した運動にも努めていきます。

中九州横断道路の早期実現を

質問

中道インター（仮称）周辺整備の状況は。

答弁 市長

中原河屋線の中道インターから片島間については、道路整備交付金事業に追加申請し、協議中です。

早期に事業着手ができるように努めます。



▲整備が進む中道インター（大野町）

えとう たつや
衛藤竜哉



災害に強い道路改良を

質問

市の発展の起爆剤として道路改良は、絶対必要だ。計画とビジョンは。



▲今にも崩れ落ちそうな岩場（県道緒方高千穂線）

答弁 市長

7月に市は、土木事務所および豊肥振興局と「豊後大野道づくりを考える会」を設立しました。

国道、県道、市道をはじめ農道、林道を含めて議論し、豊後大野市の「みち」を考えます。

質問

災害に対する取り組みは。

答弁 総務部長

県から防災担当と建設課に状況の報告があります。市は、情報収集を図りながら、通行止めなどを関係地域の住民へお知らせしています。

市職員の意識、資質の向上に向けて

質問

職員の市民への接し方、地域での貢献度が低下しているのでは。

答弁 総務部長

各種研修への参加や市の独自研修を行っていますが、まだまだ十分な状況ではありません。

今後、市民の目線に立った対応を全職員挙げて取り組むように、さらなる研修の内容充実に向けていきます。

質問

第1回豊後大野市消防操法大会の反省点は。

答弁 消防長

操法の統一審査事項などが操法要員全員に徹底できなかった。

次回からは、操法要員を含めた全体の事前会議を開催したいと考えています。

あかみねけんじ
赤嶺謙二



**類似イベントの
見直しは**

質問

市の一体感醸成のためにも、町ごとに行われている類似イベントを早い時期に整理・統合すべきと思うが見解は。

答弁 企画部長

「ふるさといきいき事業（3年間）」は、各町の主体性に委ねており、当面類似イベントが各地域で開催されることもやむを得ないと判断しています。

3年後には、整理・統合し、市として引き継ぐべきイベントの選択も必要です。

**おがた総合病院
に関して**

質問

医療費の不払いが全国的に問題となっている。未収者数と金額、その対策は。

答弁 病院長

平成18年7月31日現在、未収者数698人・未収額3179万665円。

面談による協議と、場合によっては法的措置も検討したい。

しゅとうまさみつ
首藤正光



教育に関する問題

質問

県教委の公表した「高校入試の地域別平均点」は、根拠のない数字であり、教育委員会としての見解と対応は。

答弁 教育長

県高校教育課は、このことについて「数値は、通学区にある高校受験者の平均で地域の中学生全体の平均点ではない」と説明してい

質問

地方公営企業法の全部適用移行の目的を職員に理解させることが大切であり、十分な労使協議が必要と考

答弁 市長

えるが。病院職員の理解を求める

ますが、その発表にもっと工夫が必要ではなかったかと思われま

質問

全県一区（校区制の廃止）後の学校格差を懸念するが、その対応は。

答弁 教育長

市の唯一の高校となる三重総合高校に対しましては、特色ある学校づくりをしながら学校間格差を生じないよう、一層魅力ある高校としての対策・対応を県教委に要望します。

質問

三重総合高校を教育委員会として支援を考えてはどうか。

答弁 教育長

施設（体育施設・エイトピアおおの）の利用、事業の連携、中学生、保護者への啓発などの支援を積極的に行います。

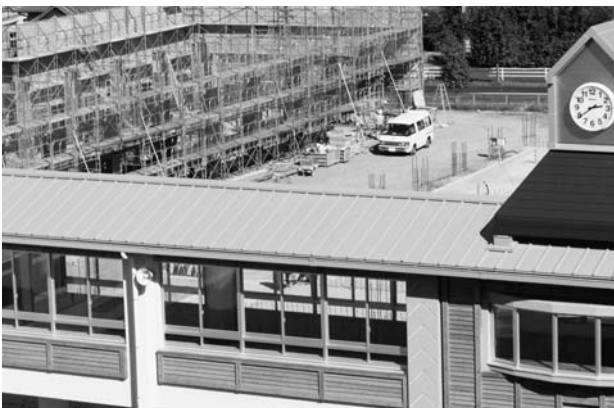


ため、説明会を6回開催。

今後も、職員労働組合と誠意を持って協議を重ね、労使の合意に基づく全部適用を進めたい。



▲夜空に舞い上がる花火（大野町・しだはら湖面火祭り）



▲2期工事が進む三重総合高校



▲どうするか、行政区再編

行政区の再編は



渡邊 一文
わたなべ かつふみ

質問 再編の進捗状況と今後の計画は。

答弁 総務部長 市内には、252の行政区があり、最多で480戸、最少で7戸の状況です。再編は、各町の推進委員会で協議をしています。

市有地の無償貸付

質問 合併前に無償貸付された土地について、その後の対応は。

答弁 総務部長

緒方町の任運社は、昭和49年に契約され、58年に更新されて現在に至っています。使用期間は任運社が運営されている期間とされています。大野町の借生会は、平成元年に契約更新されており、期限は平成21年までの20年間です。今後、貸付のあり方については、関係施設と相談をしていきたい。

※その他

冠婚葬祭について



羽田野昭三
はだのしょうぞう



職員のマナーアップを

質問

職員の市民対応に関する研修は、実施されているのか。

答弁 市長

市独自の職員研修を5回実施しました。今後、市町村職員研修会へ積極的に参加し、市民対応など基本的なマナーの習得に向けて取り組みます。

どうする？

県中央空港

質問 大分県中央空港の活用と空港関連の企業誘致を。

答弁 企画部長

さらなる有効利用と充実に向け、県と協議していきたい。また、企業誘致についても情報収集に努めます。

市道の維持は

質問

中長期的視野に立った市道の維持・管理について伺う。

答弁 建設部長

通行車輛の変化や舗装の老朽化により、今後は多額の道路維持費が必要です。全体の維持費を按分し、各支所に配分しています。また、道路愛護作業補助金は、現在、戸数割で交付しているが、延長割を含め、検討します。

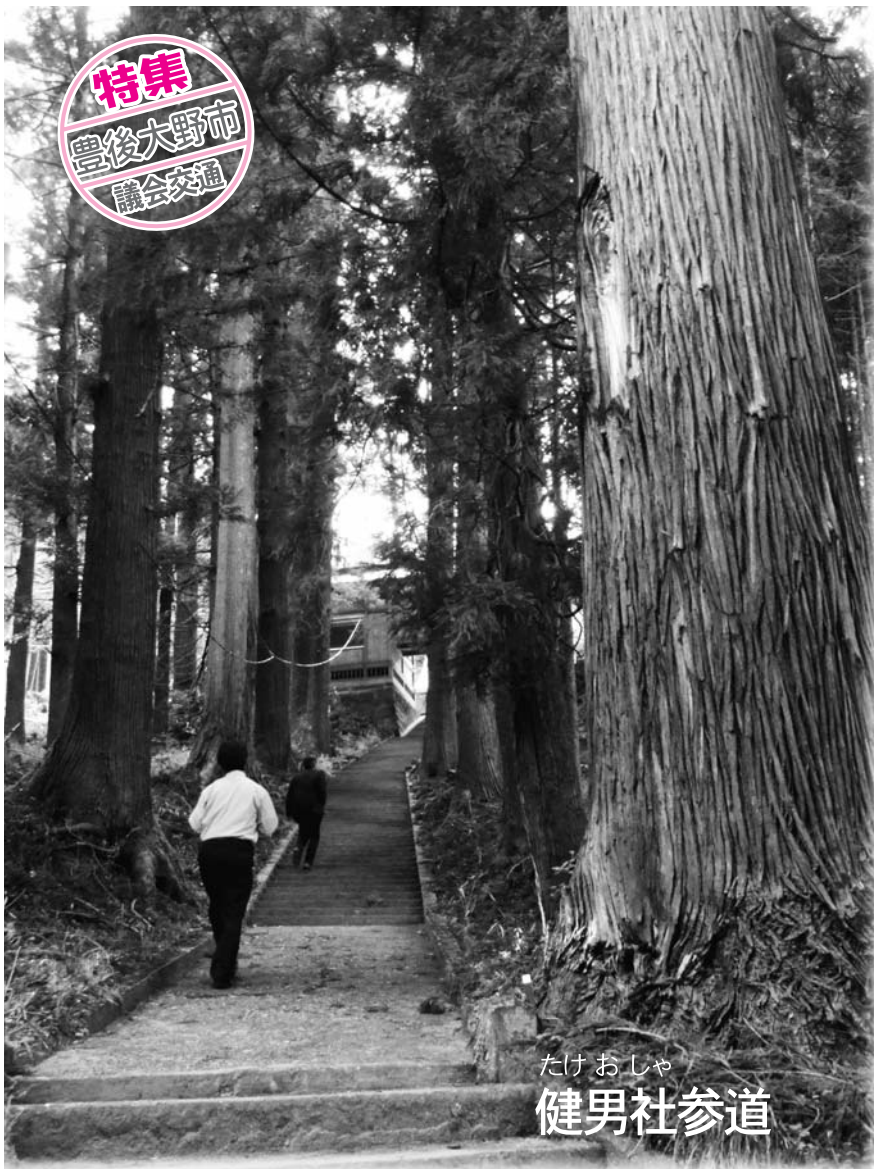


▶遊覧飛行もできるそうです。一度乗ってみませんか？（大野町）

ふるさとを

訪ねて

緒方町上畑
うわはた



特集
豊後大野市
議会交通

たけおしゃ
健男社参道



▲宮崎県高千穂町との県境にて案内をしてくださった地元の方々



▲上畑公民館では30名近くの方々と夜遅くまで語り合いました

今回のふるさとを訪ねては、緒方町上畑地区です。祖母・傾国定公園の入り口に位置し県道7号緒方高千穂線沿いに住居が点在しており、市役所から車で1時間30分ほどのところですが、大正から昭和の初期には、日本でも屈指の錫の産地として三菱尾平鉱山・豊栄鉱山(九折)がありました。最盛期には、約3千500人が生活をしており、当時は、「不夜城」と呼ばれるほど栄えた地域です。今では、尾平鉱山世帯数2戸、男性2人女性1人、上畑地区世帯数42戸、男性37人、女性47人。(平成18年4月1日現在)

この地区には、健男社(健男霜凝日子麓社)という旧郷社があり、樹齢600年以上の杉並木に囲まれた480段の石段を上り拝殿に向かいます。奥嶽流の上畑獅子舞が地域の大切な伝統芸能として残っています。

県道緒方・高千穂線は、谷が深く、大規模な落石がいつ起きても不思議ではありません。

災害復旧は、もちろんですが、抜本的な道路改良が望まれます。それにより、宮崎県高千穂町との交流・観光を期待する意見も多い。



キラリひと言

前向きに



緒方町越生

五郡 正之

昨年の合併から1年半が経過しました。

昨今よく耳にする言葉が、「合併したが何もないことがないの」と。はたして本当にそうでしょうか。

旧町村が借金を抱え、毎年増加傾向の財政では、遠からず北海道の「夕張市」と同じ行政運営に陥り、「緒方五千石祭」や「チューリップフェスタ」などのイベントはもちろんのこと、全ての面で今まで以上の痛みを被るでしょう。

合併に際しては、大変な苦労があったでしょうが、合併後の今が大事と

思っております。

中長期的な政策の重要性は当然ながら、短いサイクルで変化する日本の「経済」「行政」に対応すべく、役所関係の方々、市議会議員の方々のさらなる自己啓発を希望いたします。

また、我々市民も、後ろを振り向かず、前向きに考え、少しでも行政に参画し、より良い我が故郷「豊後大野」を創りましょう。

子どものために、孫のために、将来のために。



▲毎年盛大に行われる緒方五千石祭



中国湖北省荊州区

歴史の国 中国へ



▲調印後、張荊州区長と堅い握手を交わす

友好都市の締結のため、芦刈市長、若松議長ほか15名が、9月30日から中国の湖北省荊州区への訪問を行い、さらなる友好関係の発展と日中両国民の相互理解や交流、経済協力など、より一層深めることを確認しました。

表紙の説明

おおのまち42.195キロ歩こう大会

10月8日(日)正午、県庁前広場を出発し、大野支所までの42.195kmをひたすら歩きました(191人が参加し、134人がゴール)。



▲出発前の県庁広場



好勝負を展開した対津久見戦

◆ スコア ◆
豊後大野市 1対0 津久見市
豊後大野市 4対0 佐伯市

9月17日、台風の中、大分市の九石ドームで行われた議員・教委リレー(100m×4名)では、宮成(昭)小野(順)、衛藤(竜)、佐藤(生)議員4名が出場しました。大いに健闘しましたが、結果は、惜しくも4位でした。また、個人100m決勝では、小野(順)議員が6位でした。

9月16日、別府市野口原総合運動公園において、議員ソフトボール大会が開催されました。昨年、準優勝の我がチームは、「今年こそは優勝を！」の意気込みで出場しました。

一回戦の津久見市戦では、緊迫した投手戦となり、1対0の僅少差で辛勝。続く二回戦でも、衛藤(竜)投手の抜群のスピードと制球力で、打線の援護もあり4対0と佐伯市に快勝しました。

18日の準決勝・決勝は、台風のため残念ながら中止となりました。

桌体に出場

議員ソフトボール



100mのスタート (小野順一議員・右側)

議員・教委 400mリレー

傍聴どうぞ!

◇12月定例会は
12月5日(火)に
開会予定です。

詳しくは議会事務局
(TEL22-1001)へ
お問い合わせください。

■広報編集特別委員会

- 委員長 高山 豊吉
- 副委員長 赤嶺 謙二
- 委員 安藤 豊作
- 委員 長野 健一
- 委員 小野 順哉
- 委員 衛藤 竜哉

お初盆

この夏は 一生懸命
生きたあなたの お初盆
手を合わせれば 浮かんできます
あの日の笑顔 ああ言葉
外では 蝉も 鳴いてます

混乱の 戦前戦後
嵐が吹いた 激動期
貧しい時代 苦労の日々を
こたつ 頃に 飴食べて
子どもの頃に 聞きました
凜とした 白い山百合
遺影の前で 咲いてます
きつとどこかで 見えています
そんな気がする お初盆
月が出ました 掃り道

※昨年1年間、豊後大野市では500人を超える方々が、ご逝去された
そうです。謹んでご冥福をお祈りします (A)